キートン西部成金（1925）

GO WEST

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 69分
初公開日 不明

【解説】

心ならずも住み慣れた郊外の町を出ようというキートン。家財道具一切売り払っても二束三文にしかならず、そこから改めて必要なものだけ取り出すと、よろず屋は母の写真にさえ金を払えと言う。その場で金をハムとソーセージに替えたキートン。最後の小銭まで共同募金に剥ぎ取られ、東部行きの列車に乗って憧れのＮＹに出てはみたものの、ものすごい人混みにはじき飛ばされて、あえなく西部行きを決意。フラリと立ち寄った牧場で牧童になったはいいが、食事をいつも逃がすほどドンくさい。それでも、かわいい雌牛のメイベルに惚れてしまった彼は、いかさま賭博も列車強盗もなんのその、牛を運ぶ牧童の身でありながら、なんとか彼女の屠殺場送りを阻もうと必死の格闘を続けるが……。キートン絶頂期の現代西部劇調長編コメディで、ジム・キャリーあたりがリメイクしてもおかしくないほど、時代を超えて魅力的なドタバタ表現とクールなギャグ満載の傑作。圧巻はなんと言っても、牛の群れを乗せた列車が大都会ＬＡに着いてからの展開で、キートンはメイベルだけでなく他の牛も逃がしてやったので、町中が牛だらけでパニックになる。これをパーティ用の赤い悪魔の衣装を着けて導こうとし、スタンピードと化す大型ギャグには大笑い。女性に接するがごとく、メイベルを扱う優しさが妙におかしい、スマートな倒錯喜劇の側面も持つ。

【クレジット】

監督	バスター・キートン	Buster Keaton
脚本	バスター・キートン	Buster Keaton
撮影	エルジン・レスリー	Elgin Lessley
出演	バスター・キートン	Buster Keaton
	キャサリン・メイヤーズ	
	ハワード・トルースデール	
	レイ・トンプソン	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.